

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

(2004年7～9月期)

第34回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - （1）前期比（平成16年4～6月との比較）
 - （2）前年同期比（平成15年7～9月との比較）
 - （3）来期見通し（平成16年10～12月の見通し）
5. 業種別の景気動向
 - （1）製造業
 - （2）建設業
 - （3）卸売業
 - （4）小売業
 - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	210社
回答率	42.0%
(業種別)	
製造業	87社
建設業	38社
卸売業	17社
小売業	35社
サービス業	33社
合計	210社

(2) 実施時期

平成16年7～9月期（平成16年10月に実施）

(3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)

採算D I = (好転 ") - (悪化 ")

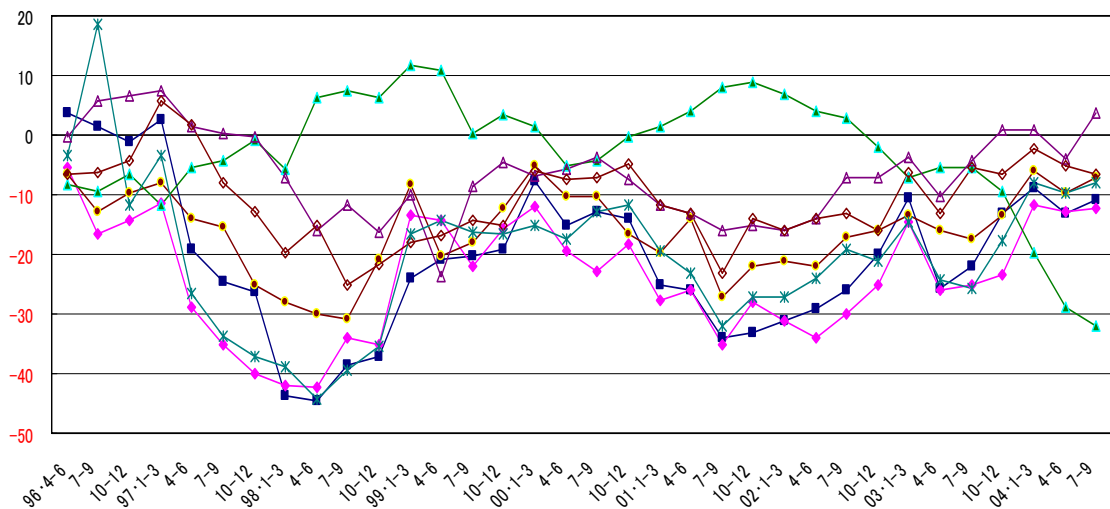
資金繰りD I = (好転 ") - (悪化 ")

仕入価格D I = (下落 ") - (上昇 ")

雇用状況D I = (不足 ") - (過剰 ")

設備投資D I = (拡大 ") - (減少 ")

業況D I = (好転 ") - (悪化 ")



前年同期比 (全企業D I の推移)

	02/1-3	02/4-6	7-9	10-12	03/1-3	4-6	7-9	10-12	04/1-3	4-6	7-9
■売上	-30.9	-28.5	-26.2	-20.2	-10.7	-25.6	-22.0	-13.1	-8.9	-13.2	-10.8
◆採算	-30.5	-33.8	-29.9	-24.8	-14.7	-26.0	-25.0	-23.4	-11.7	-12.8	-12.2
●資金繰り	-21.3	-21.5	-17.0	-16.3	-13.3	-16.1	-17.4	-13.5	-6.1	-9.6	-7.0
▲仕入価格	7.4	4.3	3.0	-2.3	-7.1	-5.4	-5.5	-9.4	-19.7	-28.8	-31.9
△雇用状況	-16.2	-13.6	-7.4	-7.4	-3.6	-10.3	-4.2	0.8	0.9	-4.1	3.8
◇設備投資	-16.2	-14.2	-12.5	-16.3	-6.2	-13.2	-5.5	-6.6	-2.3	-5.0	-6.6
*業況	-27.2	-23.5	-19.2	-21.3	-14.7	-24.4	-14.8	-17.6	-8.0	-9.6	-8.0

3. 概況

「製造業は好調ながらも、他業種は低水準」

(1) 今期の特徴

前回調査では再び悪化に転じた前期比のD I だが、今回はその数値とほぼ同じ。業種別では、製造業が、デジタル家電の活況に伴い、液晶・半導体製造、関連機械製造が好調。今まで足を引っ張ってきた建設業も台風復旧工事により、前回調査より好転している。

前年同期比においても、前期比同様、好調な製造業のみD I 値がプラス、台風復旧工事の恩恵を受けた建設業が改善をみせたが、逆に、台風により来客数減となった小売業、レストラン・宿泊を抱えるサービス業が前回調査より悪化している。

(2) 来期の見通し

引き続き好調な製造業に加え、年末需要が見込まれる卸売業、小売業、サービス業が回復の見込み。ただ、改善見込みの建設業ではあるが、公共工事削減が響いており、D I 値は大きなマイナスの値が続いている。

原油価格の高騰もあり、このところ上昇している「仕入価格」については、他の数値の回復傾向の中での懸念が、はっきりと現れている。

(3) 経営上の問題点

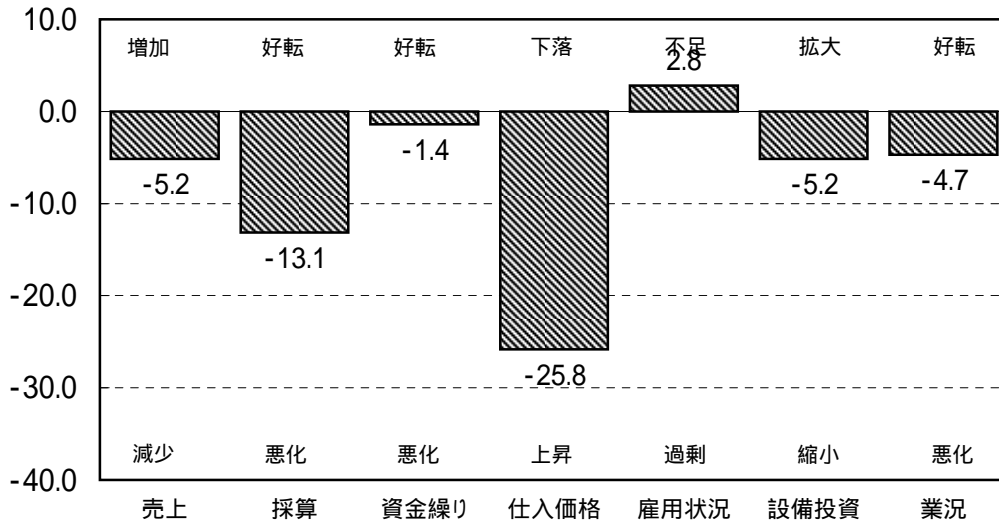
今回は上位の順位に変動はなく、やはり「需要の停滞」が圧倒的1位で、2位が「製品（販売）単価の低下・上昇難」となっており、長引く消費の停滞による景気低迷をあらわしている。3位に「原材料価格の上昇」が顔を出してきた。

(4) 今後の対応策

今回も、1位が「その他合理化を実施したい」、2位が「新規市場を開拓したい」が突出している。3位には「新製品の開発を行いたい」が前回3位の「人件費を削減したい」（今回4位）を上回った。

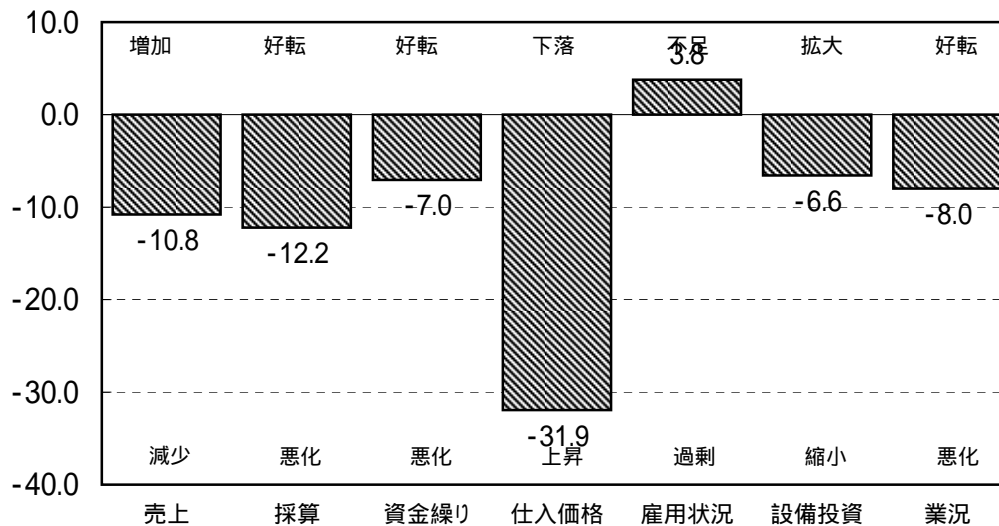
4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成16年4～6月比)



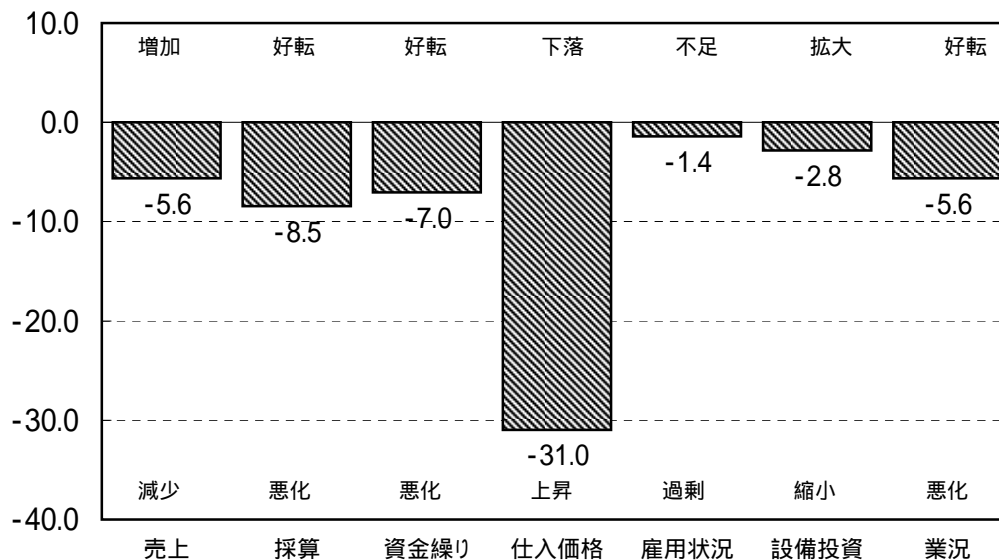
前期比でみると、ほぼ全ての業種で前回調査より改善している。ただ、その中でも、小売業、サービス業のD I値は依然として厳しい数値を示している。

前年同期比(平成15年7～9月比)



前年同期比は、情報家電関連が好調な製造業、台風復旧工事のあった建設業が大きく改善したものの、一方では、台風による来客減少が響いた小売業、サービス業が足をひっぱる形で、D Iは前回調査とほぼ同じ数値となった。

来期見通し(平成16年10～12月見通し)

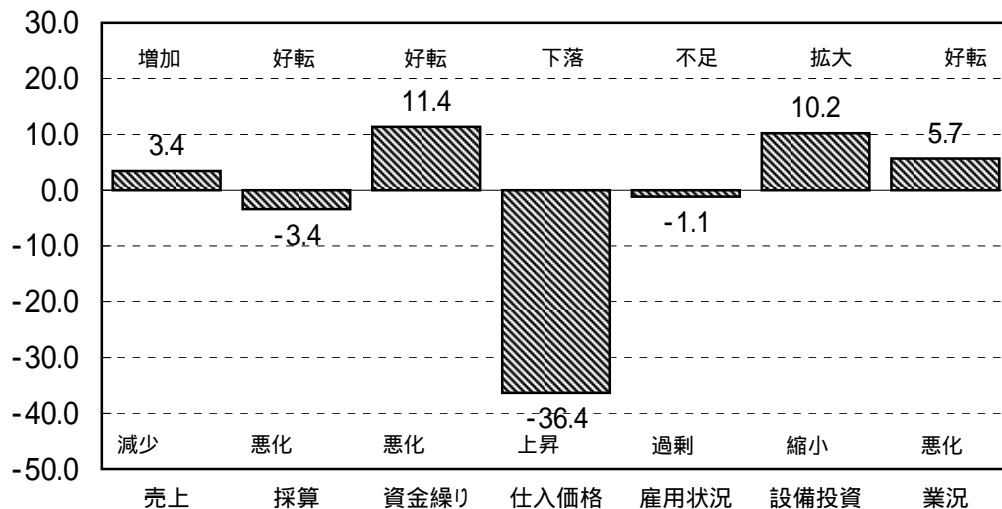


年末需要を見込んでいる卸売業、小売業、サービス業、そして引き続き好調な製造業が寄与し、D I値は大きく改善をみせた。とはいえ、公共工事削減が響いている建設業が大きくマイナスのままである。

5. 業種別の景気動向

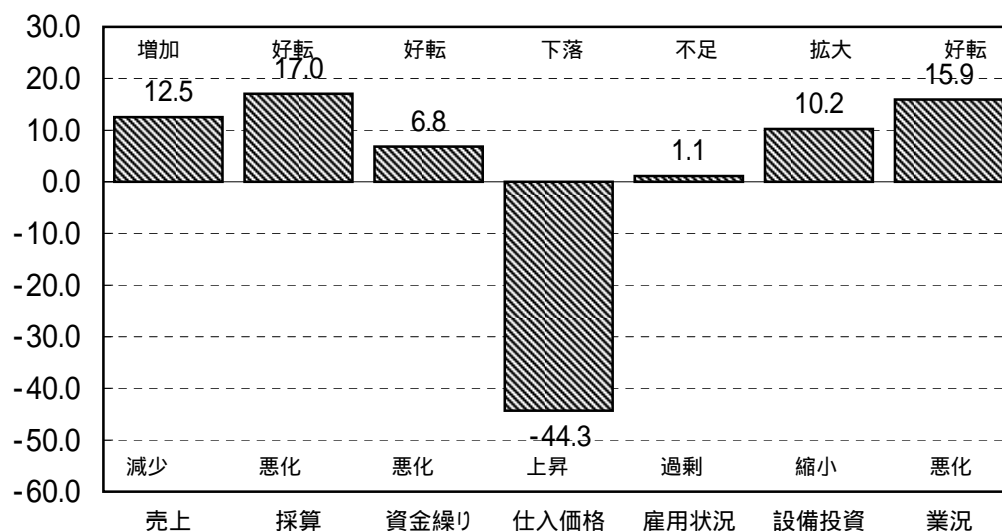
(1) 製造業

前期比(平成16年4～6月比)



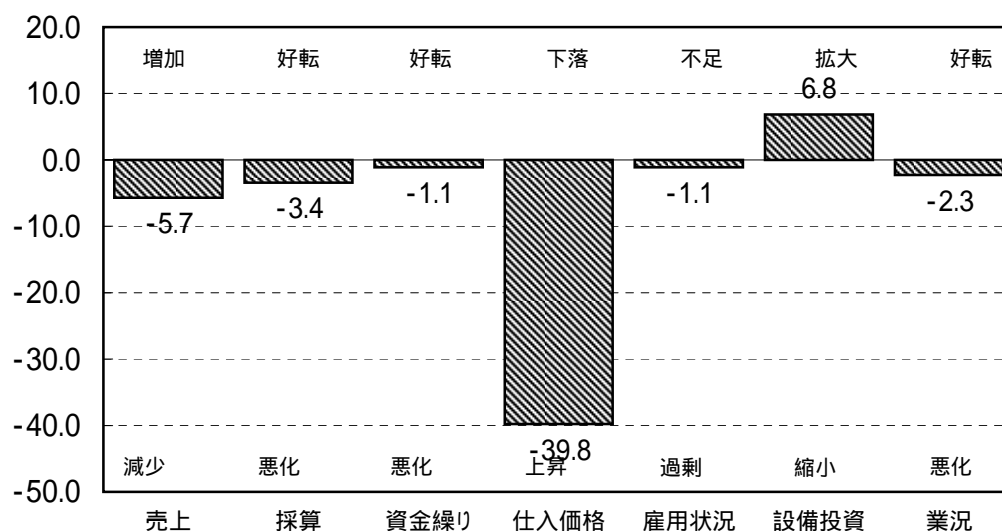
「需要、消費の低迷」(味噌・醤油製造)、「官公需の経費削減と民間需要の冷え込み」(印刷)、「公共工事の減少」(セメント・コンクリート)等、県内需要回復によるものは少ないが、液晶・半導体関連の好転によりDI値は大幅改善。

前年同期比(平成15年7～9月比)



前年同期比でも半導体市況の好調を反映し、関連の機械装置まで需要増が及んでいる。さらに、猛暑が追い風の清涼飲料水、人気の焼酎が寄与し、大幅に改善。一方では、原油高等による仕入価格の悪化が顕著となっている。

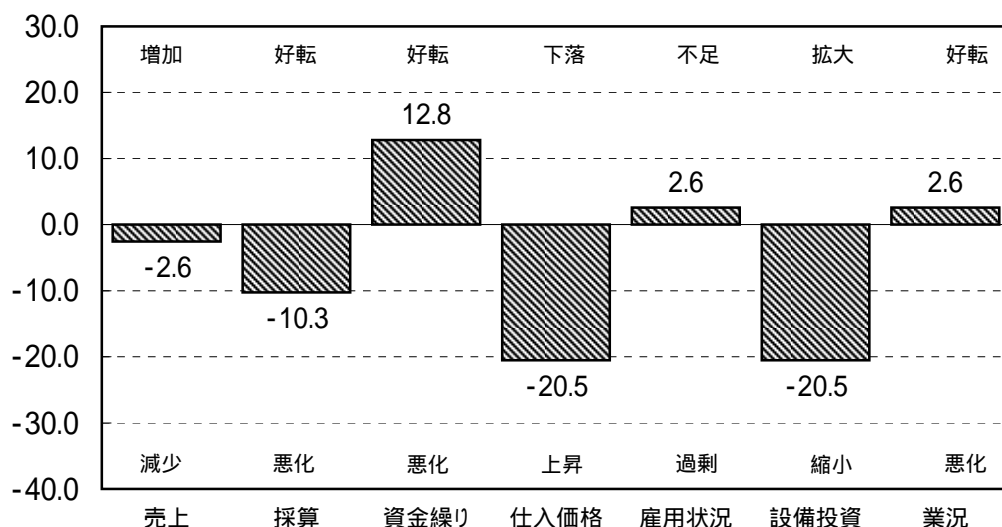
来期見通し(平成16年10～12月見通し)



デジタル家電がひと段落(産業用CCD)、それに伴う半導体設備の一巡(機械装置)等の不安材料もあるが、引き続き好調な焼酎製造、「売上回復傾向」(金属製品)等が後押しし前回値とほぼ同じ。材料値上がり懸念の声多し。

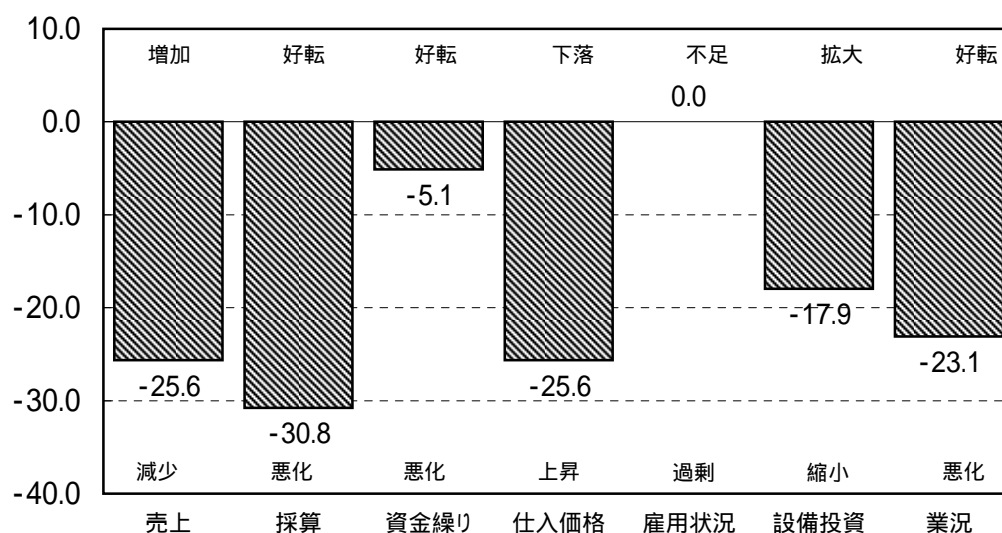
(2) 建設業

前期比(平成16年4～6月比)



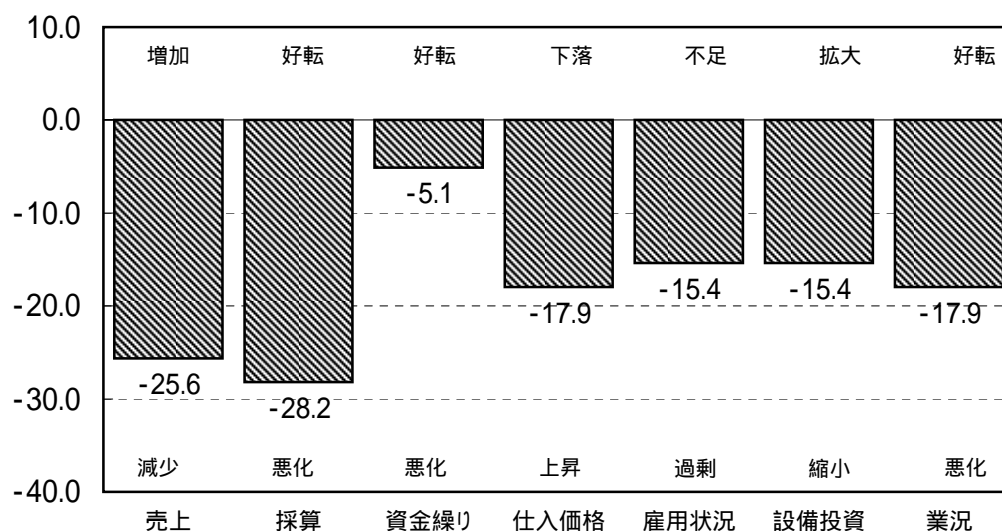
公共工事予算縮小に伴う工事量の減少は変りようもないが、一部では民間需要増の声が聞かれるようになった。ただ、今回数値の改善は、台風災害復旧工事によるものが大きいと思われる。

前年同期比(平成15年7～9月比)



前期比同様、台風災害復旧工事等プラス要因があり、前回調査時より数値的には改善しているものの、やはり公共工事削減はカバーしきれず、DI値は引き続き厳しい数値となった。

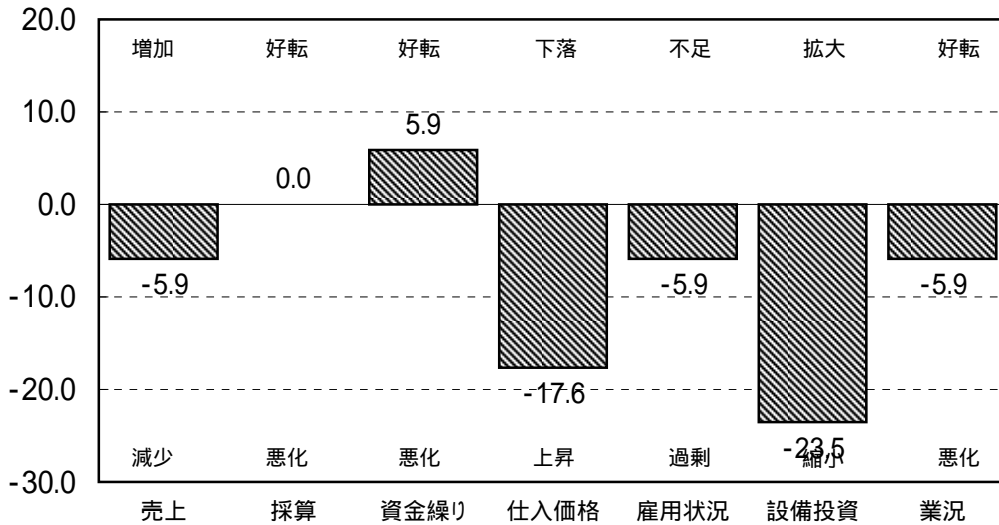
来期見通し(平成16年10～12月見通し)



こちらでも、台風災害復旧工事、一部にの完工の声が聞かれるが、「見通しがたたない」、「不透明」、との意見が多く、DI値は改善しつつも、厳しい数値が続いている。

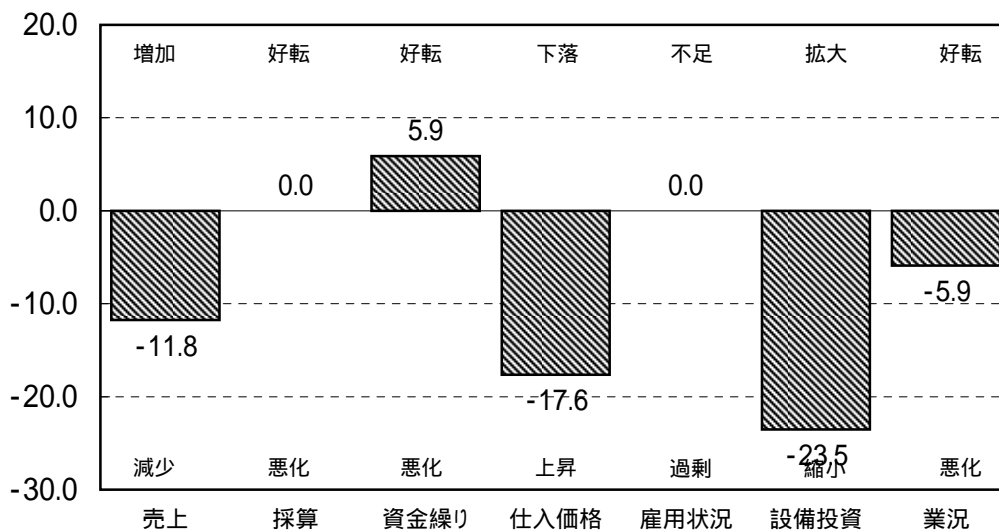
(3) 卸売業

前期比(平成16年4～6月比)



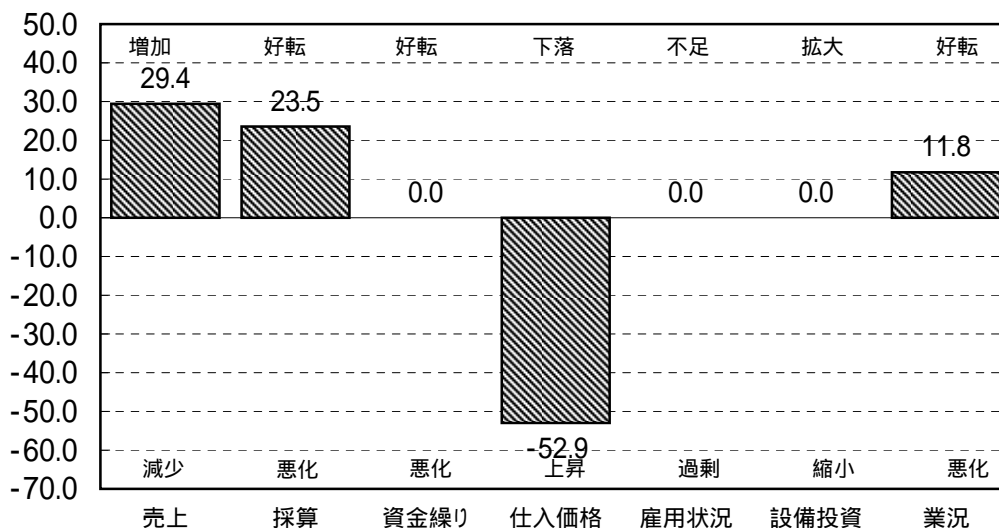
新規事業取り組み等自助努力をする企業では好転もみせるが、公共工事削減、住宅着工伸び悩みを嘆く建設資材卸の声も聞かれる。中元期の時期でもあるが、一般的に一進一退の状況となっている。

前年同期比(平成15年7～9月比)



「猛暑により大幅増」(食料品卸)、「前年より少しはよくなってきてはいるが・・・」(機械工具)状況だが、一方では、中国製品の値上がり懸念の声も聞かれ、売上・業況は不変ながらも、仕入れ価格は悪化している。

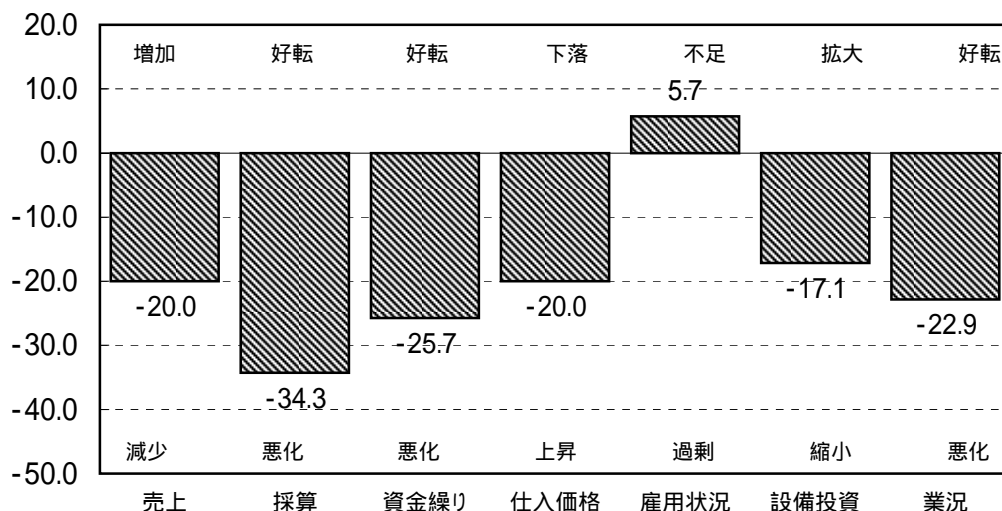
来期見通し(平成16年10～12月見通し)



「良くなる材料が見当たらない」(紙文具)、「建築需要の落ち込み」(建築資材)等の一进一退の状況が続く中改善傾向を示したのは、「年末需要に期待したい」(食料品卸)等の期待感が反映されたものと思われる。

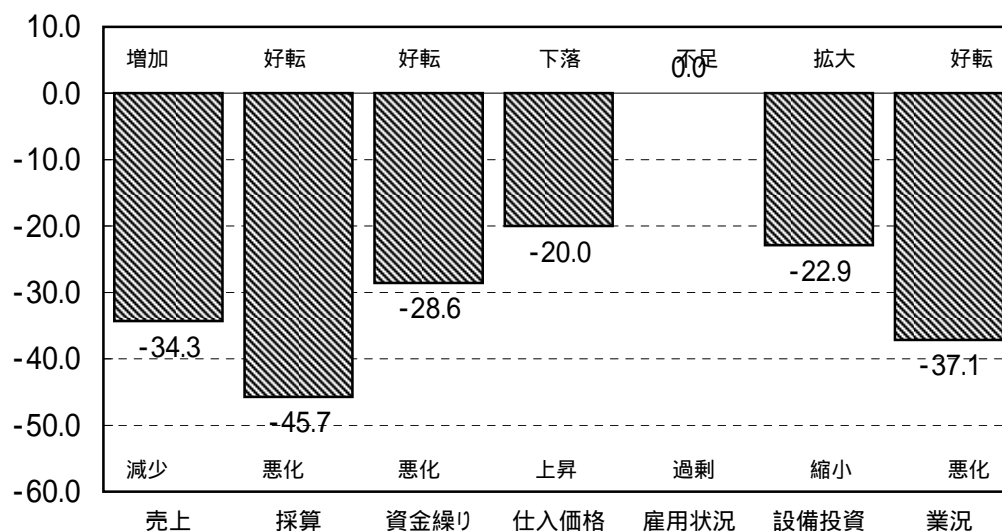
(4) 小売業

前期比(平成16年4～6月比)



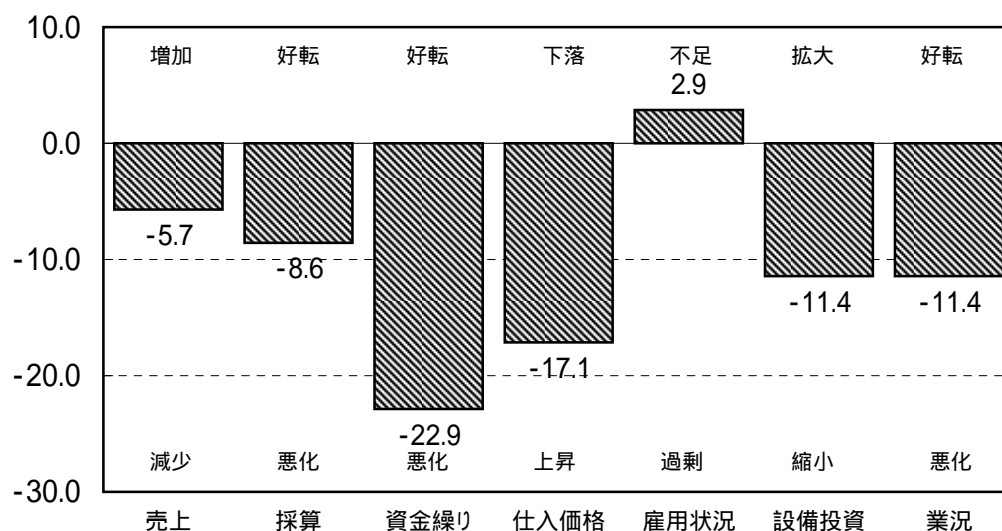
一部企業で「前期より店売りが増えた」等の声もあるが、個人消費の低迷に続き、台風や天候不順による来客減 売上減が響き、D I値は回復しつつも低水準のままである。

前年同期比(平成15年7～9月比)



「焼酎ブームによる底上げ」(酒類小売)等のプラス要因もあるが、一般的には、やはり消費低迷は脱しきれず、台風による来客減が大きく響いている。「若者(購買層)の減少」を嘆く地域もみられた。

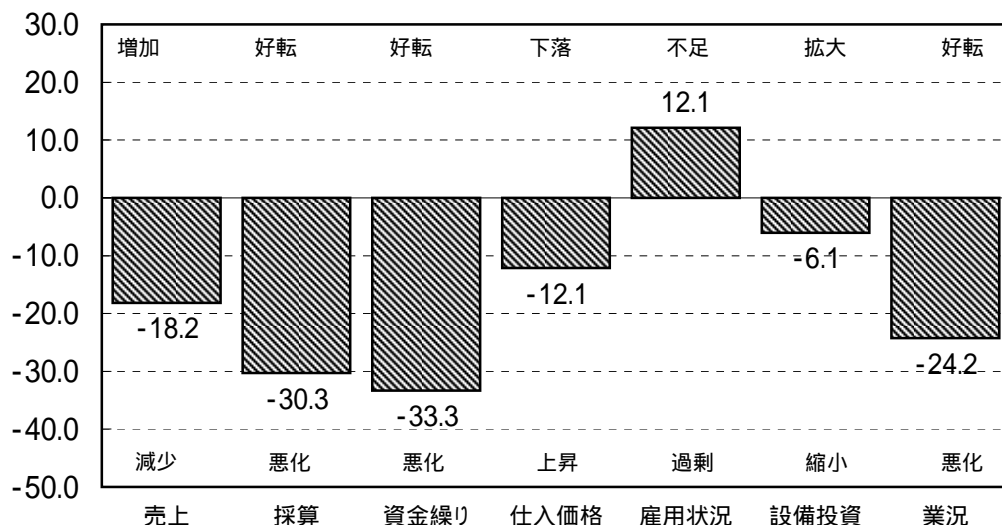
来期見通し(平成16年10～12月見通し)



「見通しがたたない」等の厳しい状況は続くものの、「秋は催事期」(切花鉢物)、「最需要期」(酒類販売)、「新車投入時期」(自動車関連)等が寄与し、マイナス値ながらも前回調査より改善している。

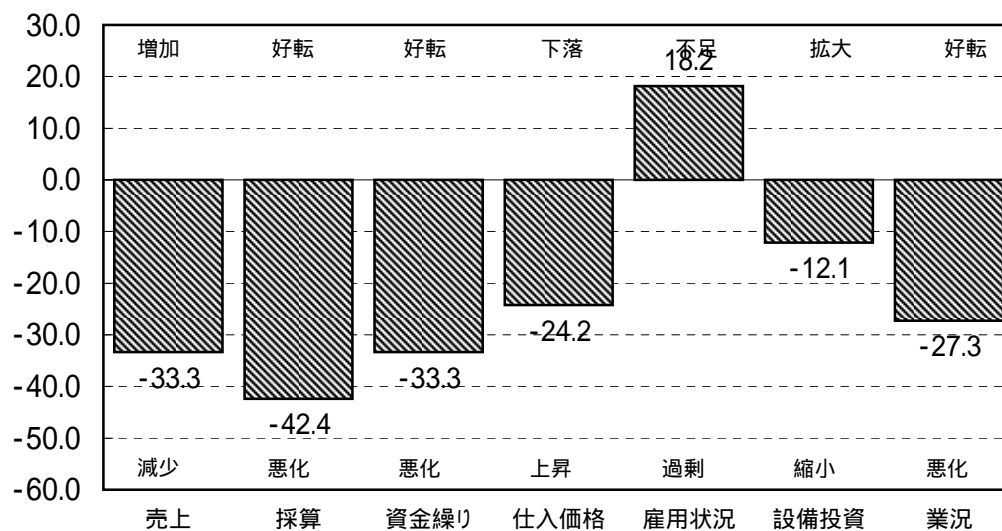
(5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成16年4～6月比)



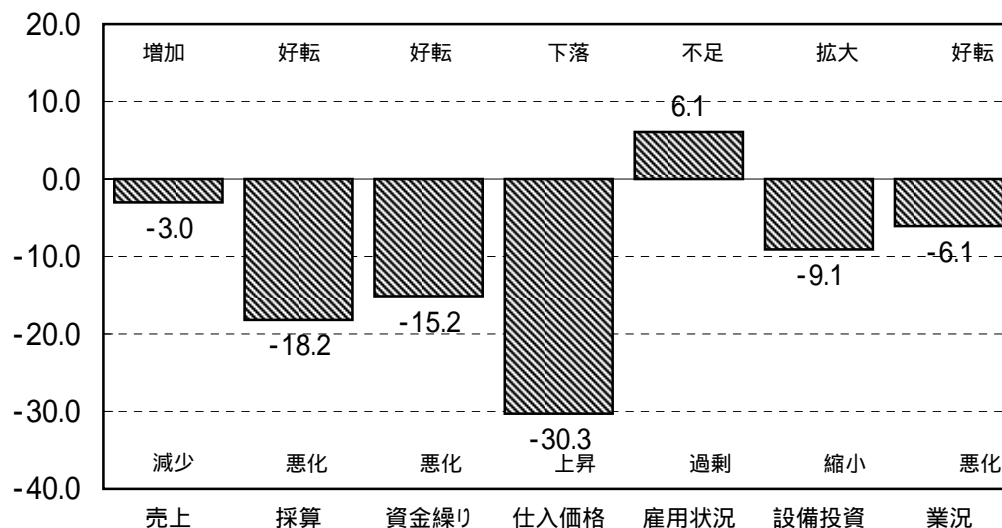
「県外客回復に加え県内客も昨年並みに」(インカ-)、
「テレビ、ラジオで一部商品の宣伝増」(広告代理店、放送業)等の明るい材料も一部ではあったが、
「原油高」(運送業)、「台風の影響」(ホテル、レストラン)が響き、前期比では一進一退。

前年同期比(平成15年7～9月比)



人気商品の動きに恩恵を受ける業種(貨物運送、放送業)もあるが、
「競争激化」(ホテル、情報処理業)や「台風による集客減」(ホテル・旅館)が足を引っ張り、前回調査より悪化している。

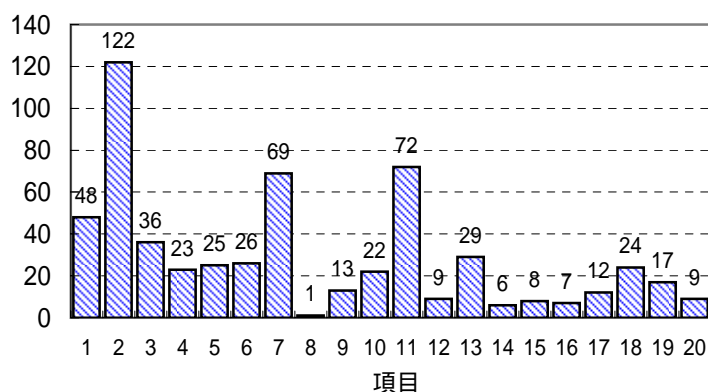
来期見通し(平成16年10～12月見通し)



「年末需要に期待」(旅館、クリーニング)する声もあるが、
ここでも「原油高による経費増」(運送業、タクシー)が顔を出し、総じて厳しい状況を脱しきれない。

6. 経営上の問題点

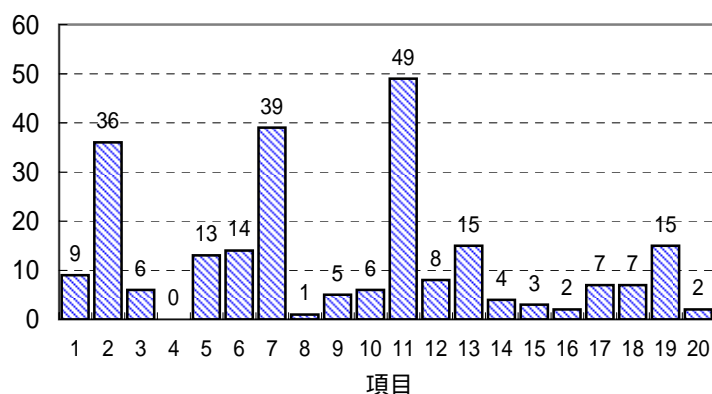
全業種



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

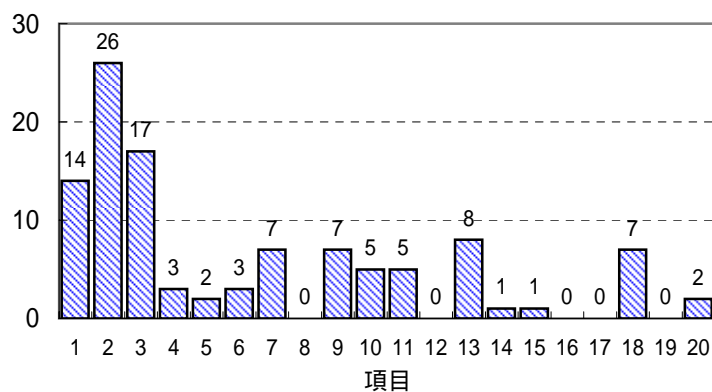
製造業



順位

- 1位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 需要の停滞
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足
- 5位 円高による海外製品との競争激化

建設業



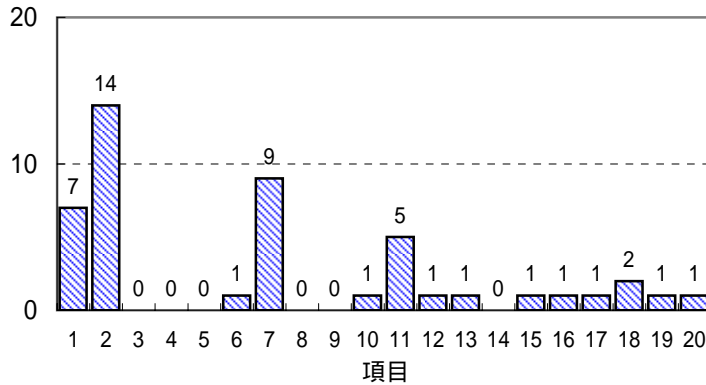
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足
- 5位 原材料(仕入単価)価格の上昇

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

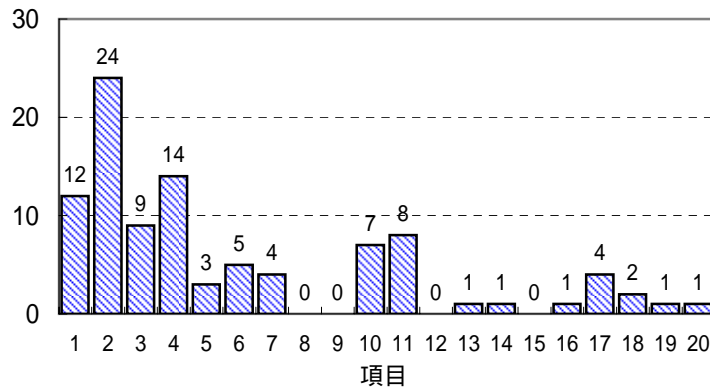
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 取引条件の悪化

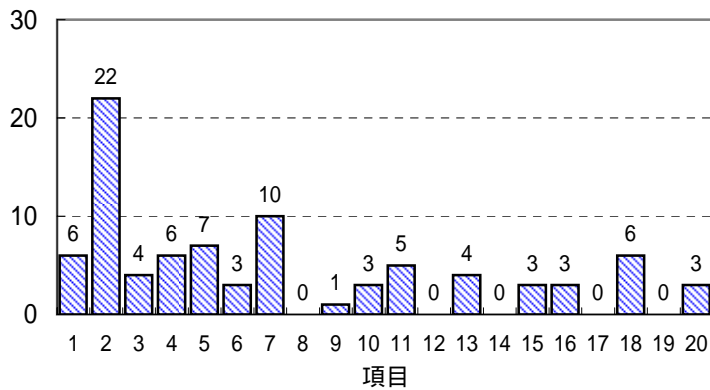
小売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 新規参入業者の増加
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

サービス業



順位

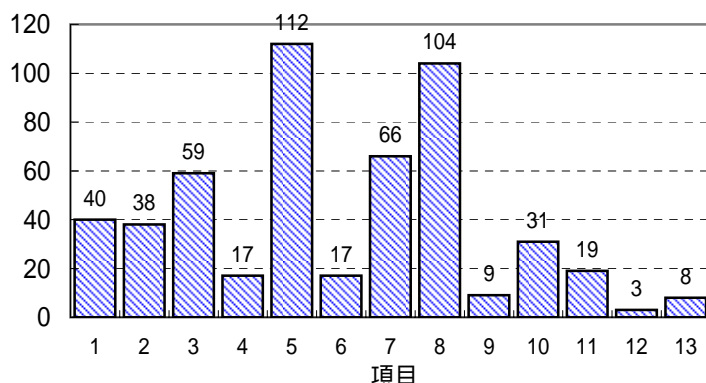
- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 生産設備の不足・老朽化
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 新規参入業者の増加

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

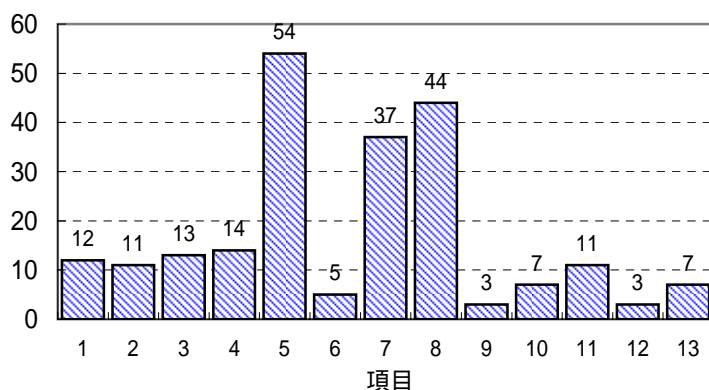
全業種



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 新規採用を見合わせたい

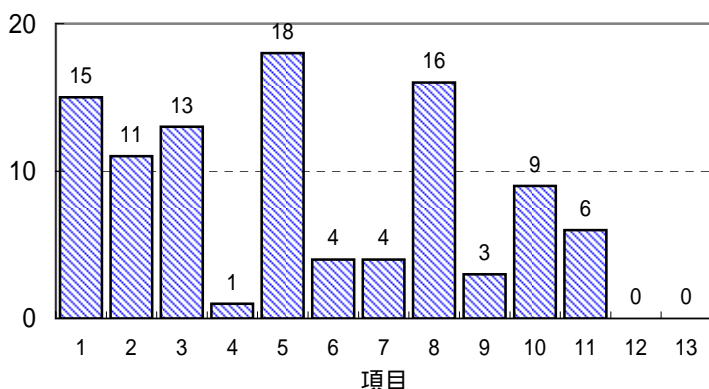
製造業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 生産調整を行わないたい
- 5位 人件費を削減したい

建設業



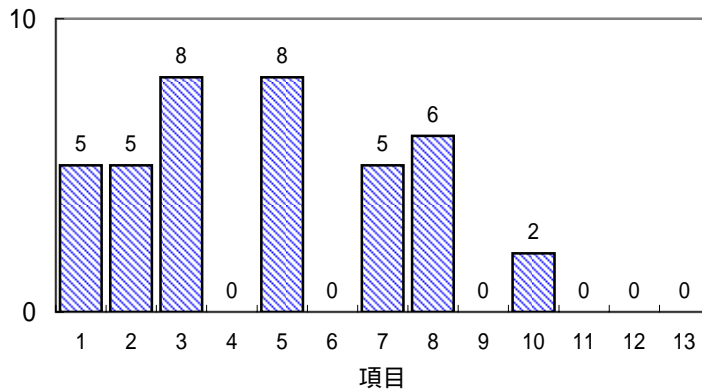
順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新規採用を見合わせたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 雇用調整を行いたい

項目一覧

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい (1を除く) |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい (操業短縮など) |
| 5. その他の合理化を実施したい (製造工程の簡素化など) | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

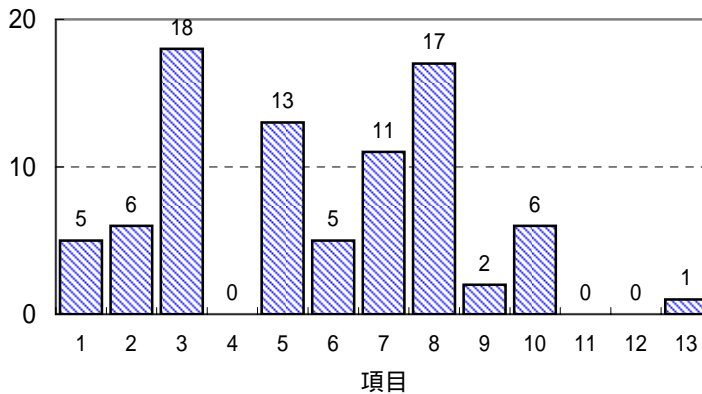
卸売業



順位

- 1位 人件費を削減したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 雇用調整を行いたい

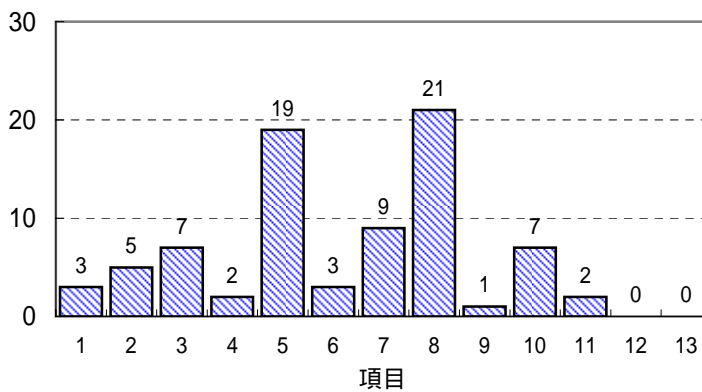
小売業



順位

- 1位 人件費を削減したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 雇用調整を行いたい

サービス業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

項目一覧

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい (1を除く) |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい (操業短縮など) |
| 5. その他の合理化を実施したい (製造工程の簡素化など) | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	封筒の製造販売	都城	地方経済活性化の為の対策をお願いしたい。まだまだ、首都圏中心の流れである。
製造業	繊維製品製造業	都城	8月末から10月に続けて4つの台風がきたが、その影響での売上増はあったが、一段落した後の反動がどの様になるか懸念している。景況は良くなったとは感じていない。
製造業	製材業	都城	民事再生法をやめて欲しい。
製造業	製材業	都城	木材使用の公共施設建設を拡大していくこと。(特に学校)
製造業	金属製品製造業	宮崎	行政が物づくりの国家を再構築しようとして取組んでいる姿勢は理解できるものの、特に中小企業に対する支援策について時宜を得たものが明確にみえない。鋼材、原油製品など資材の高騰により採算は悪化しており、資材供給業界に対する行政指導や支援があってもよいのではないか。
製造業	IC製造業	宮崎	中小企業にメリットのある施策(税制を含む)を希望
製造業	印刷業合成樹脂製品製	宮崎	補助金の金額の増額をしてもらいたい。
製造業		延岡	個人の購買意欲がなければ企業も発展しない。国は税金や国民から徴収する各種保険料の無駄遣いをやめ、個人負担を削減させる必要がある。いつまで経っても出口の見えない現在の不況を国はどの様に方向転換させるのだろうか。中央の大企業のみならず、地方の中小零細企業にまで浸透する景気回復対策を望む。
製造業	化学品製造	延岡	中小企業の活力を引き出し、経営が安定するような諸恩恵を税務面からも忘れず対策して欲しい。
製造業	セメント製品製造	日向	当業界では公共事業抑制による需要低迷が続く中、受注競争の激化にともなう価格低下に依然として歯止めがかかりません。一方で原材料、特に鉄筋関係については大手メーカーの生産調整による急激な単価上昇と在庫不足が続き、日増しに業況を圧迫しつつあります。中小企業として生き残りをかけての懸命の努力にも限界を感じる中、国・県等による適切な指導を早急に望みます。
製造業	縫製業	日向	企業努力だけでは限界があるので、海外生産等に対して規制をして頂きたい。そうしないと国内の製造業は経営がなりたないと思います。
製造業	金属加工業	日南	今の景況が来年も続くという人とボツボツ陰りが出てくるという人(業者)がいて、完全に情報をつかめません。
製造業	自動車金属部品製造	日南	1.国内・海外とも日南からの物流コストが問題。現状、輸出に関しては、名古屋を利用するほうが安くなっている。2.人材育成を早急に進める必要がある。社員の定着率も良くするためにも目標管理の手法導入を計画中。3.人件費の問題からも、外国人労働者の規制緩和をお願いしたい。
製造業	家具	日南	一部には単価の低下がみられる。よって半自動化(自動化には資金が必要)程度の設備で人件費の削減を。
製造業	コンクリート製品	日南	道路の整備は、人と物の往来に大きな影響があり、地域経済浮揚の要である。南郷町(夫婦浦)と都井岬間の国道448号線の改良整備を急ぐとともに高速道の清武以南の着工は施行命令が出て数年たっているの、一日も早い実現を望みます。
製造業	焼酎製造販売	串間	現在、フォローの市場を当社に甘愛全て「新製品・新規取引先」開拓に努める。
建設業	建設業	都城	公共工事予算の増加。
建設業	管・水道施設工事業	都城	材料価格は上昇し、経費も同様に上昇するが、受注価格の引上げが困難な状況にあります。国や県が設定する労務単価等の見直しは、あるのでしょうか？ここ数年下がる一方である。
建設業	電気通信工事	宮崎	今回の相次ぐ台風による被害が特に山間部でかなり発生しております。応急復旧から本復旧に向けて根本的な台風(大雨)対策を講ずるべきだと思えます。電力、通信等のライフラインの見なおしが必要では。

建設業	建築工事業	宮崎	決して要望ではありませんが、この宮崎という比較的平地の多い地域において、異常といえるほど分譲マンションが建設されていることに怒りを感じ始めました。市内のマンション個数はすでに大塚台、生目台、小松台の全個数に匹敵し、それはその個数分の住宅が建設されなかったことを意味します。マンション建設は地域経済の底上げではなく、足を引っ張る要因のひとつと申せるのかもしれない。時代のニーズとして片付けるのが悩みます。
建設業	建設業	宮崎	必要な公共事業の部分に関しては、予算の関係で難しいが、削減ではなく、現状維持を望む
建設業	電気工事	宮崎	公共工事の縮減を考慮して下さい
建設業	管工事水道施設工事	宮崎	公共工事の発注を増やして欲しい
建設業	電気設備工事	宮崎	1. 公共投資への安定した予算編成をおこなうこと、2. 一般消費需要の拡大(失業率を低くすることが重要、特に若年者の未就業を減少させることが緊急の課題)
建設業	建築設計監理	宮崎	建築設計業務は官民とも減少しており、厳しい状況にある。加えて、受注競争が厳しく、正常価格では受注できない現状にあり、受注額も年々減少している。今後、業務の合理化を実施し、経営の安定を図りたい。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	国の公共事業費削減にならってか県も市も公共事業の縮小を打ち出した。これで本当に景気が回復の方向へ向うのだろうか。高齢化対策、福祉事業も大切だが、景気浮揚につなげて欲しい。
建設業	土木建築工事請負	宮崎	財政赤字解消の為、公共工事費の削減が続き、倒産や廃業を余儀なくされた建設業者も少なくないようだが、国や県は地方経済の下支えとなるべき建設業の育成発展に対し、どのような将来的なビジョンを持っているのか示して欲しい
建設業	電気工事	延岡	国、県、市に頼らず(税収不足)自分の力で事業展開をしていかなければ、いつまで経っても人に頼ろうとしてしまう。国が悪い。市が悪いと自分の努力は別において全て人に頼る心の経営者は今から先、生き残る事は出来ないだろう。
建設業	建設業	延岡	景気の回復 各会社の増収 国税の増収 予算の増 工事受注の増 会社利益の増収というめぐりを確保してもらいたい。
建設業	建設業	日向	公共事業の増加により景気をよくしてもらいたい。
建設業	建築塗装	日向	1) 日本経済の全体的な表現として景気は良いと言っているが、現在、世界の原油高騰で景気の後退になるのではないかと心配しています。2) 公共工事の削減をがまんするとしてその後の計画を示してもらいたい。
建設業	建設業	日向	東郷町(出来れば門川町も含む)との合併の早期実現を望む。現在日向市で行われている区画整理事業等(財光寺、南町、上町等)の予算拡大実施を望む。
建設業	土木建設業	日南	公共工事が年々減少しているうえに、来年度は更に30%削減になるということは、建設業不要論が進んで業者数半分以下になるのではないかと思います。
卸売業	総合包装資材の卸売業	宮崎	県知事も意欲のある政策を打ち出されており、我々中小企業家としては成果を楽しみにしております。少しは上向きになってきているような気はします。
卸売業	包装材文具日用品卸	宮崎	石油元売の価格の上昇で取扱商品の主力商品の値上げが続いている。需要の停滞が懸念、行政は何もしていない。
卸売業	建設資材販売施工	延岡	均衡ある改革を望みます。
卸売業	建築資材販売	日向	余り望めないでしょう、台風の影響で少しは土木関係が良くなるでしょうが、あとがないので余分な買入れ(仕入)はないだろう、横這いか。
卸売業	食品卸売	日向	景気対策よりも、年々深刻化している国と地方の借金について、抜本的方向付けをしてもらいたい、国民に将来の不安感があるうちは景気は絶対よくなりません。
小売業	全酒類卸小売	宮崎	固定資産税の軽減化、評価額より安く取引されている事例も多くなった。事業税はやめて欲しい。

小売業	酒類食料品小売業	宮崎	景況にのみ左右されるような商売ではなく、景況を分析し、それなりに仕掛けて、きちんとした実績を残せる商売をしていきたいものです
小売業	製作家具一般家具	宮崎	社会保険、厚生年金の増加、また、消費税を上げる、源泉税の控除額の減と国民にとっては不安感がますますばかり、年金がもらえるかどうかわからないでは、需要が増すわけがありません。
小売業	米穀・酒類販売	宮崎	ただひたすらやれる処まで耐えるのみ
小売業	総合食料品スーパー	日向	特にございません。
小売業	カメラ・写真用品販売	日南	小泉政権になり3年が過ぎましたが、相変わらず改革なくして成長なしで全く経済政策をせず、税収は3年間で10兆円も減らし、予算は3兆5千億円もプラスしながら、地方の公共工事は30%近くも減少させて景気がよくなるはずがありません。郵政民営化は1年遅れても赤字は出ないのです。優先順位が一番は景気対策です。これから2年半の任期で中零細企業は何割破産するでしょうか。全国の地方出身者の国会議員の方考えてください。
小売業	新聞販売	串間	何と言っても若者の雇用の場の確保。道路の整備等による、商店街の活性化。第一次産業(農業)のてこ入れ。
サービス業	総合ビルメンテナンス	都城	民需、官需を問わず、拡大策を国県市共とられたい。
サービス業	衣料品販売業	都城	大型店が約48%シェア率を占める状況で、小規模小売店が生き残る為には、より専門性を高めるしかない。行政には、個店を対象にした支援策をお願いしたい。
サービス業	広告代理業	宮崎	景気感については、好転の兆しは感じられないが、昨年と比較して、高校生、大学生の就職状況は少し改善しそとの予測が出ているので、期待したい。中高年層を含めた全体的な雇用環境の改善策を推進して欲しい。
サービス業	喫茶&レストラン	宮崎	自由社会においては競争も当然、仕方がないことではありますが、イオンのような規模のものは、少なくとも開店直後、周辺に限らず影響がでるものと思います。その時の売上減少に小規模企業が資金面で耐えられるような策などはないでしょうか？市、県ともイオンには道路等のインフラ関係でかなりの投資をするはずですが、小企業はいかにすれば対抗できるのではないのでしょうか？
サービス業	不動産売買・管理	宮崎	住宅ローン減税。住宅着工は景気のパロメーターといえる。せっかく景気が持ち直しつつある今、住宅減税の年数を縮小するのが理解し難い
サービス業	曳船事業ボートサービス	宮崎	中央での景気回復感が我々にはピンときません。
サービス業	広告代理店	宮崎	焼酎ブームだとか、ゴルフ天国とか言われる宮崎県ですが、官公民間での県外でのアピール、連携がおとなしすぎるのでは？
サービス業	旅館業	宮崎	最近の経済状況をみると、先々の希望とか期待とかが持てないような感じがして仕方がない。金融面の締めつけで全ての企業は活力をなくしており、このままでは荒廃しきってしまうのは確実なわけですが、政府はその後、どうするつもりなのでしょうか？本当に、何とかして欲しいものです。
サービス業	宿泊宴会会議等	宮崎	輸出関連は景気が良くなっているようであるが、ほとんどが大企業で、中小企業にはその実感が無い。観光面では、海外旅行は良いみたいだが、国内旅行は低調である。
サービス業	タクシー営業	宮崎	規制緩和施策も政令指定都市と地方都市を同一に考えるのではなく、市場経済の規制の小さい地方都市には国や県も配慮していただきたい！
サービス業	クリーニング業	延岡	やはり延岡の景況は厳しい。とはいうものの自社努力していくしかない。あまり行政に期待はしていない。
サービス業	ホテル業	延岡	誘致活動、施設の充実、市民のことを聞く。
サービス業	飲食業	日向	社会的な不安要因が多くなってきている。基本的に日本の第一次産業の低迷が将来を暗くしている。農・水・林業それぞれ問題点を解決し、若者の就労の出来る希望ある第一次産業を創る必要がある。時間はあまり無い、政府に早急な対応を望みたい。
サービス業	屋外広告物製作	日南	人手(熟練)不足。職人育成のための諸施策はないのか。

サービス業 ホテル

日南 宿泊利用者は減少傾向が続いている。地域イベントへ積極的に参加し、観光客の誘致で地域の活性化に協力していきたい。